

CSR REPORT 2021

枠を超え新たなステージにチャレンジする

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CONTENTS

I. 河内長野ガスグループ概要	1
II. Top Message	5
III. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方	6
IV. 安心・安全への取り組み	9
V. 快適な生活をご提案	15
VI. 子どもたちの明るい未来のために	22
VII. 働きやすい職場づくり	28
VIII. コンプライアンスの取り組み	31

I

河内長野ガスグループ概要



1 河内長野ガス株式会社 会社概要

商号	河内長野ガス株式会社	
設立	1961年9月	
資本金	3,000万円	
売上高	16億700万円(2021年3月期)	
役員	代表取締役会長	山本 明彦
	代表取締役社長	吉田 顕
	取締役	山中 一恭
	社外取締役(公認会計士)	田淵 正信
	監査役(弁護士)	吹矢 洋一
	執行役員	田中 聖明
	執行役員	松浦 成夫
	執行役員	安川 浩
従業員数	47名(2021年3月末現在)	
所在地	大阪府河内長野市昭栄町14-31 TEL. (0721) 53-3561(代) URL. http://www.naganogas.co.jp	
事業内容	1. 都市ガスの供給事業 2. ガス工事の請負 3. ガス機器の販売 4. 電気の販売事業	
関連会社	(株)リビングセンター長野	
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行	
主要供給先	河内長野市役所、大阪南医療センター、日本農業(株)、 モリ工業(株)、NTN(株)	
主要仕入先	大阪ガス(株)、(株)ノーリツ、リンナイ(株)	



河内長野ガスグループ社屋



河内長野ガスグループ
マスコットキャラクター
ふらむちゃん

沿革

1961年	9月	設 立	
1962年	7月	事業開始、需要家件数172件	
1973年	2月	需要家件数 5,000件	
1985年	1月	リビングセンター(旧社屋) 竣工	
1985年	4月	需要家件数10,000件	
1991年	1月	ブタンエアーガス6Aから 天然ガス13Aへ熱量変更作業開始	
1991年	3月	全戸 天然ガス13Aへ熱量変更完了	
1991年	9月	需要家件数 15,000件	
1994年	2月	リビングセンター増築竣工	
1996年	9月	需要家件数 20,000件	
1996年	12月	供給管理センター竣工	
2014年	2月	エネルギーマネジメント規格 ISO50001認証取得(2019年3月 認証返上)	
2014年	5月	新社屋(災害時支援施設) 竣工	
2016年	7月	小口電力(KGでんき) 販売開始	
2021年	3月	需要家件数(メーター取付数) 24,855件	



リビングセンター(旧社屋)

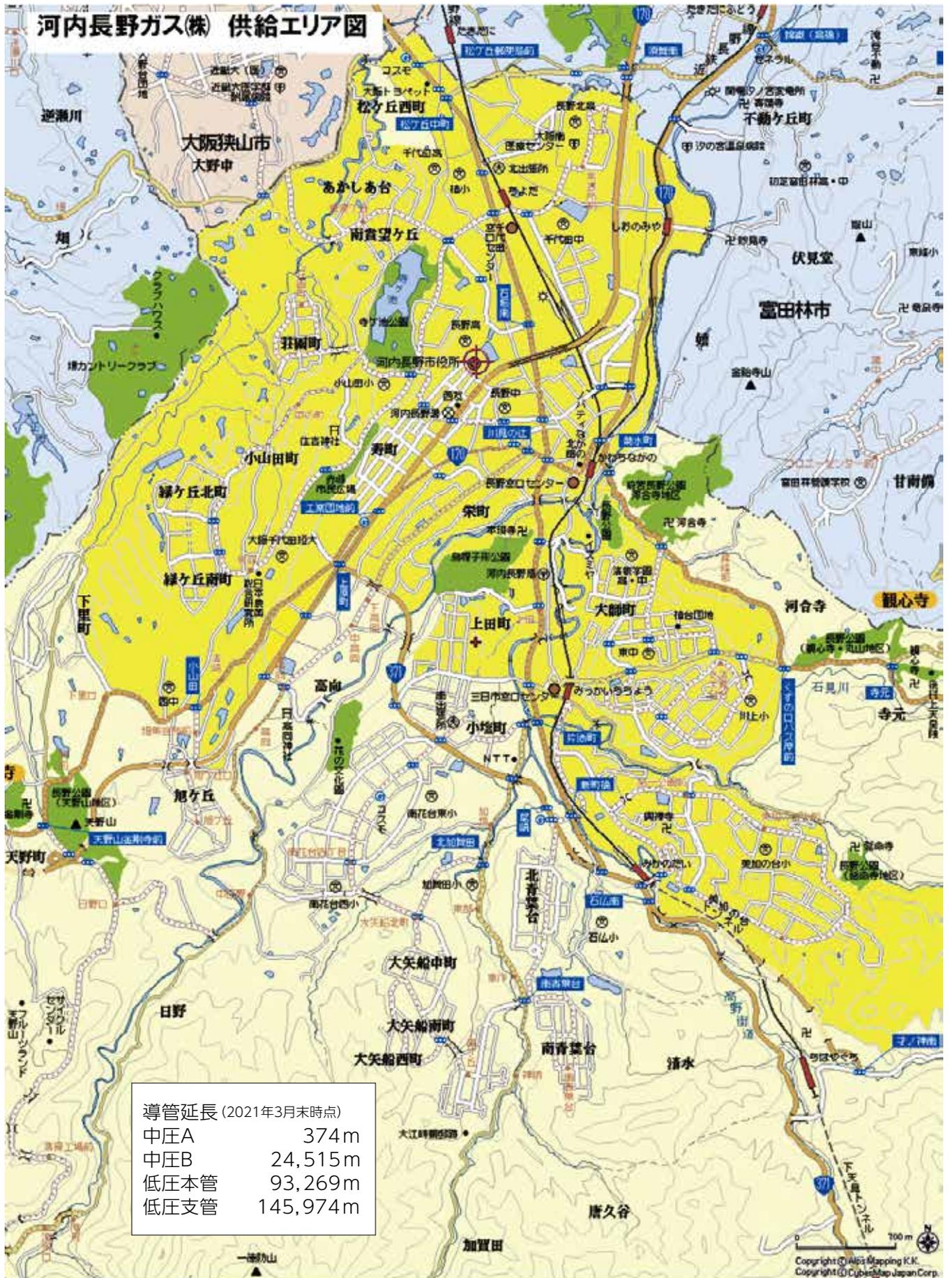


供給管理センター



KGでんきロゴマーク

都市ガスの供給区域



2 株式会社リビングセンター長野 会社概要

商号 株式会社リビングセンター長野

資本金 1,000万円

売上高 4億1,800万円(2021年3月期)

役員 代表取締役社長 吉田 顕
常務取締役 山中 一恭
取締役 山本 明彦
取締役 松浦 成夫
監査役(公認会計士) 田淵 正信

従業員数 17名(2021年3月末現在)

所在地 大阪府河内長野市昭栄町14-31
TEL. (0721) 52-5270(代)
URL. <http://www.livingcenter-nagano.co.jp>

事業内容 1. 住宅リフォーム事業
2. 液化石油ガス事業
3. 各種住設機器の販売施工

関連会社 河内長野ガス(株)

主要取引銀行 三菱UFJ銀行、三井住友銀行、リソナ銀行

主要納入先 (株)ダイドー、大阪安全衛生教育センター、大和開発観光(株)、社会福祉法人 生登福社会

主要仕入先 TOTO(株)、クリナップ(株)、タカラスタンダード(株)、岩谷産業(株)、ミライフ(株)、伊丹産業(株)

許認可等 建設業 大阪府知事許可(般-29)第69990号
二級建築士事務所 大阪府知事登録(い)第9482号
河内長野市排水設備工事指定業者 第94号
河内長野市給水装置工事事業者 第0082号
液化石油ガス販売許可 27A第0932号
液化石油ガス保安機関認定番号 27A0177RA
大阪府住宅リフォームマイスター事業者登録



沿革

1979年 11月 長野配管(株)としてスタート
1985年 11月 リフォーム事業開始
1988年 11月 現社名「株式会社リビングセンター長野」に商号変更
1990年 4月 プロパンガス(LP)販売事業開始
2009年 「家じゅうまるごとサポート」開始
2021年 3月 需要家件数(メーター取付数)854件

II Top Message

社長メッセージ

平素から、河内長野ガスグループに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この程、弊社グループによるCSR（企業の社会的責任）活動報告として5冊目にあたるCSRレポート2021を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2020年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、今日まで多くの方に被害が出ており、社会経済活動に甚大な影響を与えました。弊社グループの事業活動においても、商・工業用事業者の皆さまの時短や休業、各種イベントの中止、外出制限等による大きな影響が出ましたが、お客さまや従業員の健康と安全の確保を前提に感染防止策を徹底し、エネルギーの安定供給を継続するなど、社会機能の維持を果たすことを最優先に取り組んでおります。

弊社グループでは、一昨年、2019年度を初年度とする中期3カ年計画（'19～'21）を作成し、その基本方針を「地域と共に成長を目指す」といたしました。今年度はその集大成の年といえます。新型コロナウイルス感染症により地域経済も甚大な影響を被っています。そのような状況の中、この基本方針を進めていくことは決して容易くはありませんが、大変な状況下だからこそ地域の皆さまとの繋がりを大切に、地域密着の会社として何ができるのかを考え、河内長野ガスグループとしての社会的責任を果たしていきたいと考えております。また、SDGsへの取り組みは世界の課題のみならず、地域の課題解決へ繋がると信じ、活動を続けて参ります。

CSRレポートを通じ、少しでも河内長野ガスグループの取り組みを知っていただけますと幸いです。引き続き皆さまのご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



河内長野ガス株式会社
株式会社リビングセンター長野
代表取締役社長

吉田 顕

2021年6月吉日

III

河内長野ガスグループの CSR活動に関する考え方

河内長野ガスグループは、「地域の活性化に貢献する企業グループ」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーの安定的かつ安心して安全にお使いいただくこと、リフォーム事業を通じて健康で快適な住まいを提案することで社会的責任を全うし、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。

下記に掲げる「私たちの約束」は、当社社員が行動するうえでの大事な指針となるとともに、国連の定める持続可能な開発目標（SDGs）にも合致しています。2020年度には河内長野ガスグループが全社一丸となってSDGsに取り組むことを目的として、全社横断組織のSDGs部会を立ち上げました。

これからもコンプライアンスを徹底し、事業活動、地域貢献活動を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択される企業グループを目指します。

① 経営理念体系

1. 経営理念

地域の活性化に貢献する企業グループ

2. 長期ビジョン（あるべき姿）

1. 地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業
2. 地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業

3. 私たちの約束（行動指針）

1. 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。
2. 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。
3. 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。
4. 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくれます。
5. 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。

4. 中期計画 基本方針

地域と共に成長を目指す

5. 2021年度 スローガン

枠を超え新たなステージにチャレンジする

② CSR活動とSDGs

河内長野ガスグループの主たる事業基盤である河内長野市も、日本の多くの都市と同様、少子高齢化による人口減少が著しく、多くの地域課題を抱えています。

これらの地域課題の解決のため、事業活動や地域貢献活動をSDGsの視点で取り組んでいくことが河内長野ガスグループの社会的責任であると考えています。



1. SDGsについて

SDGsは2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標として、17のグローバル目標（ゴール）・169のターゲット（達成基準）が設定されています。

SDGsのゴール	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさも守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	



SDGsの目標項目を表す17のアイコン

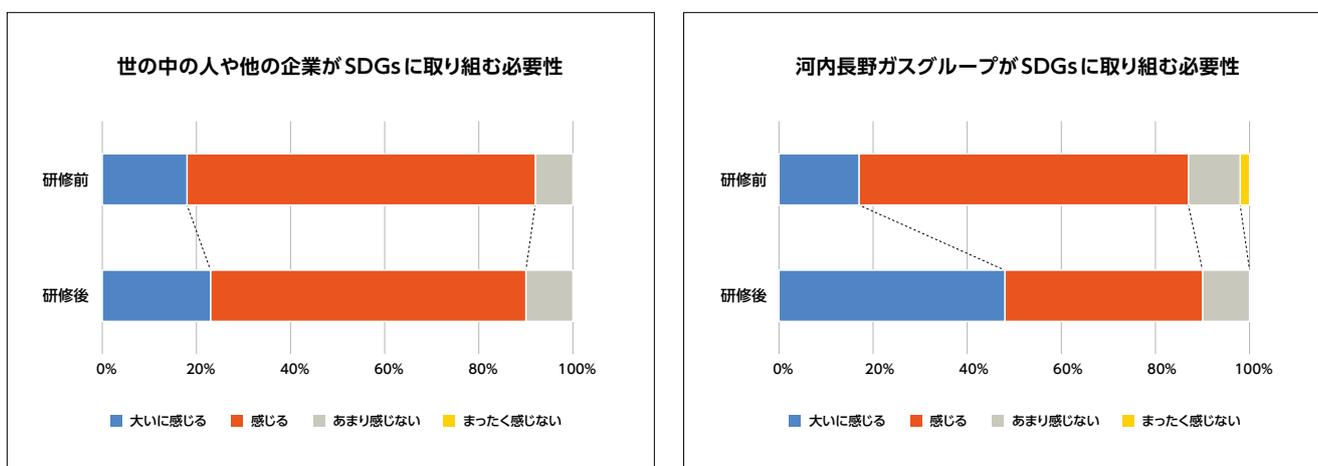
2. SDGs部会活動について

2020年度は「SDGsとは何か」、「なぜSDGsに取り組むのか」をテーマに活動しました。主な活動内容は以下の通りです。尚、このCSRレポートはSDGs部会メンバーが中心となって執筆しました。

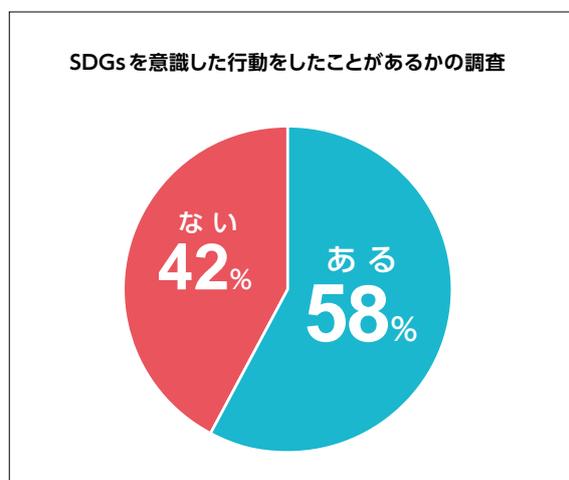
●活動内容一覧

- ・部会メンバー及び管理職対象研修会
- ・全従業員対象研修会
- ・SDGs de 地方創生カードゲーム研修会
- ・地域の施設と連携し森林ESDへの参加
- ・従業員対象SDGsアンケート(研修前後で2回)
- ・SDGsニュース配信
- ・各事業部のSDGs数値管理

●河内長野ガスグループ従業員対象SDGsアンケート結果



世の中の人や他の企業または河内長野ガスグループがSDGsに取り組む必要性についてアンケートを取った結果、研修後は「大いに感じる」の回答比率が研修前を大きく上回りました。



左のグラフは、すでにSDGsを意識した行動をしているかどうかの質問で、あると回答した割合は58%でした。具体的には、買い物時のエコバッグ持参、ゴミの削減や分別、省エネ家電への取替、節水等、日常生活するうえでの取り組みでした。

IV 安心・安全への取り組み

私たちの約束1
 私たちは、お客さまの安心・安全を第一に行動します。



1 保安体制について

私たちは、都市ガス及びプロパンガス (LP) を供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

① 安心・安全の保安体制

1. 365日・24時間の緊急出動体制

ガス漏れや火災等の緊急事態に備え、迅速に対応できるよう出動体制を整えています。



緊急車

2. 都市ガスの安定供給と監視システム

都市ガスの受入設備や供給区域内に17カ所ある地区整圧器のガスの圧力や流量を通信システム (テレメーター) で常に監視しています。



供給管理室

3. 遠隔監視システム (LPWA[※]) の導入

リビングセンター長野では、2020年度よりプロパンガス (LP) をご利用のお客さま宅に遠隔監視システム (LPWA) の設置を始めました。LPWAを設置することにより、お客さまとリビングセンター長野を結び、メーターの遮断等の異常を監視し、保安レベルの向上に努めています。現在は約10%のお客さま宅へ設置していますが、2021年度は普及率50%を目指します。

※LPWAとは「Low Power Wide Area」の略で、「長距離のデータ通信」、「低消費電力」という2つの特徴を満たしている無線通信技術です。

●LPWAのイメージ図



4. ガス導管の維持管理

道路に埋設してあるガス導管のガス漏れ調査や老朽管の入れ替え、その他ガス設備を定期的に点検しています。

また、他工事（水道、下水、電気、電話工事など）によるガス管の破損防止のため、他工事業者との事前の協議や工事現場での立会・パトロールなどを行っています。



カート式ガス検知器による
ガス漏れ調査

② お客さまが安心・安全にガスをご利用いただくために

1. ガス警報器の取付意義と取り付け状況

ガス漏れ事故のほとんどは、「ガスをつけたつもり」「ガス栓を閉めたつもり」「すぐにもどるつもり」など「うっかりミス」が原因となっています。「ガス警報器」の設置を正しくしていれば適切に作動して、人のうっかりミスによる事故の防止につながります。

河内長野ガスグループは、ガス漏れ事故を未然に防ぐため、ガス警報器の取り付けを推奨しています。

●新規取付台数

都市ガス用警報器

2020年度	402台 (普及率 38.92%)
2019年度	274台 (普及率 38.06%)
2018年度	170台 (普及率 38.18%)

プロパンガス (LP) 用警報器

2020年度	46台 (普及率 77.7%)
2019年度	29台 (普及率 78.0%)
2018年度	14台 (普及率 75.0%)

ご存知ですか？

ガス警報器はこんな時に活躍します。

老朽化ゴム管の微細亀裂から ... ▶ ガス漏れが! ガス漏れ
警報

長年使っている古いゴム管の亀裂からガス漏れが...
少量のガス漏れも高性能センサーがキャッチしてくれるから安心!

不完全燃焼で ... ▶ COを含んだ排ガスが室内に充満! 不完全燃焼
警報

少量の一酸化炭素(CO)でもすばやく検知。
一酸化炭素濃度が上がったり、この状況が長い間続くと、警報で知らせてくれるから安心!

たばこの不始末で ... ▶ 大切な我が家が火事に! 火災
警報

たばこの吸い殻を...
消したつもりで台所のゴミ箱に...
ゴミに着火して火事に!
そんな思わぬ出火にも、65℃以上の熱を感知して警報を発して知らせてくれるので安心!

●ガス警報器

都市ガス用



XW-125G
(壁取付用)



XW-225G
(天井取付用)

プロパンガス (LP) 用



KTS-P105

2. ガス設備点検

河内長野ガスグループでは、「ガス事業法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、4年に一度、お客さまがガス設備を安全にご使用いただけるように、ガス事業者が義務付けられた「ガス設備点検」を実施しています。

ガス事故を未然に防止し、お客さまの身体と資産を守るため、お客さまにおかれましては、ガス設備点検の際にはご協力いただきますよう、お願いします。

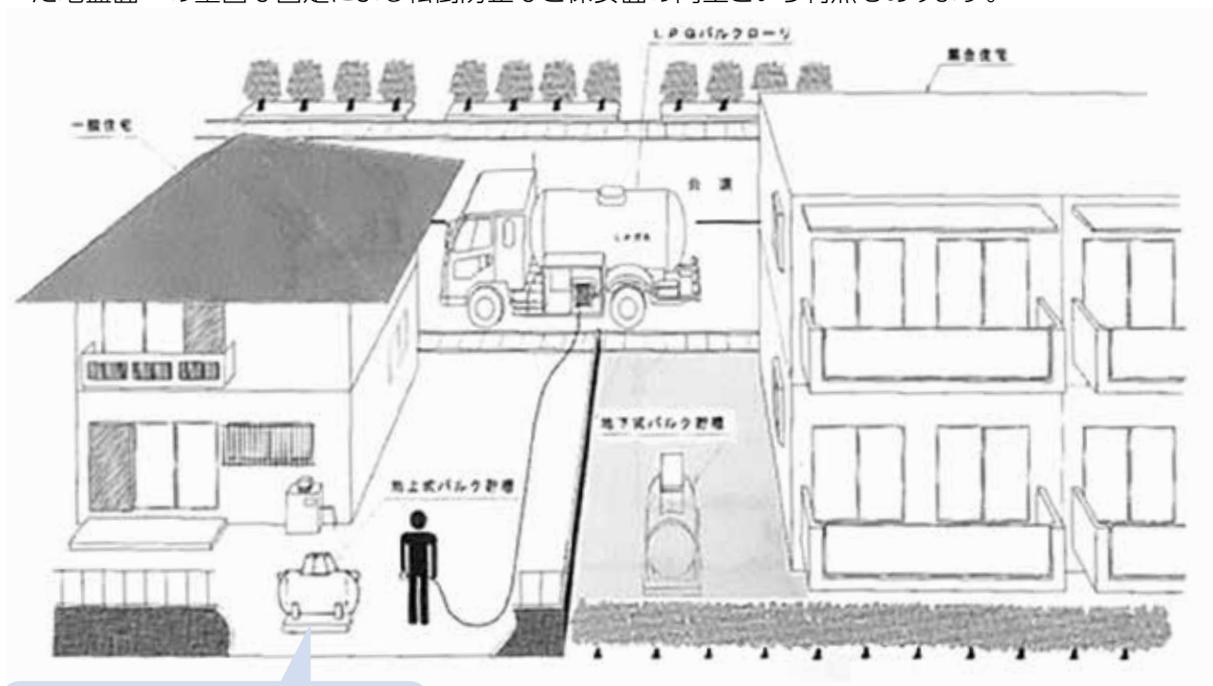
●ガス設備点検実施件数

都市ガス(家庭用)	プロパンガス(LP)
2020年度 4,628件	2020年度 220件
2019年度 5,002件	2019年度 242件
2018年度 5,179件	2018年度 181件

3. プロパンガス(LP)のバルク供給方式

バルク供給方式とは、従来の容器交換方式ではなく、集合住宅、業務用等に設置されたバルク貯槽に、バルクローリーで直接プロパンガス(LP)を充てんする方式です。

従来のガス充てん容器のように、ガスホースのつなぎ替えをする必要がなくなり、人為的ミス防止や、また地盤面への堅固な固定による転倒防止など保安面の向上という利点もあります。



バルク供給のイメージ



バルク貯槽

2 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築くなど様々な対策を実施しています。

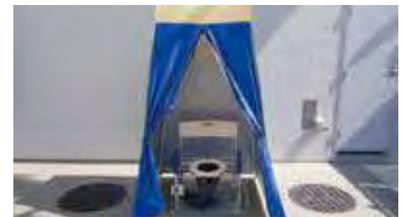
① 河内長野市との防災協定

河内長野ガスグループは、2014年の社屋の建て替えにあたり、産官民協働で平常時から「地域力」を活かす災害支援拠点づくりを目的として、2012年5月に河内長野市と「災害時等における支援協力に関する協定」(防災協定)を締結しました。この協定は、元神戸大学 紅谷特命准教授を座長に招聘し、河内長野市、長野小学校区まちづくり会議、河内長野市社会福祉協議会、市民公益活動支援センターで構成される勉強会を経て、「災害時等における支援協力に関する細目協定」として具体化されました。平常時は、社屋の一部施設を地域ネットワークづくりや地域防災力の向上のために提供し、災害時は、河内長野市からの要請を受け、「災害時支援施設」であるショールームや災害ベンチ、災害時用簡易トイレ(マンホールトイレ)等の設備を被災者の支援を行う市の職員やボランティアの方々の活動拠点として活用していただきます。

現在は、河内長野市と協力体制の見直しを図り、台風等の災害時にも、市役所の災害対策情報を共有化できるようになりました。



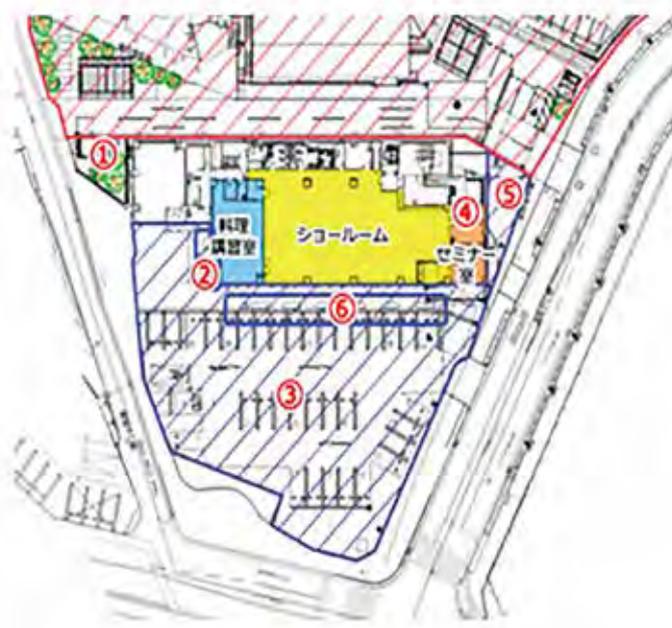
締結式の様子



マンホールトイレ



災害ベンチ(かまどベンチ)



① 都市ガス代替設備

災害時に都市ガスの供給がストップしてもプロパンによる代替ガスで非常用電力の発電が可能

② マンホールトイレ

トイレ問題を解決し支援活動をサポート

③ 駐車場

支援を行う方々に駐車場の提供

④ ショールームやセミナー室

支援者の待機場所として提供

⑤ 井戸

ろ過装置と併せて使えば飲料水になる

⑥ かまどベンチや料理講習室

災害時にはかまどになるベンチや料理講習室で炊き出しが可能

② 地震・災害への対策

昨今激甚化している地震・災害に対するより一層のレジリエンス（回復力、復元力）の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

1. 耐震性に優れたガス導管の採用

道路に埋設されている低圧ガス導管は、大規模地震による被害を最小限にとどめるために、耐震性に優れたポリエチレン管等を採用しています。

当社耐震化率 99.2% 2020年度末実績
全国平均耐震化率 90.3% 2019年度末実績

耐震化率(%) = 耐震性に優れたガス導管の延長 / ガス導管の総延長



ポリエチレン管への取替作業

2. 緊急動員体制

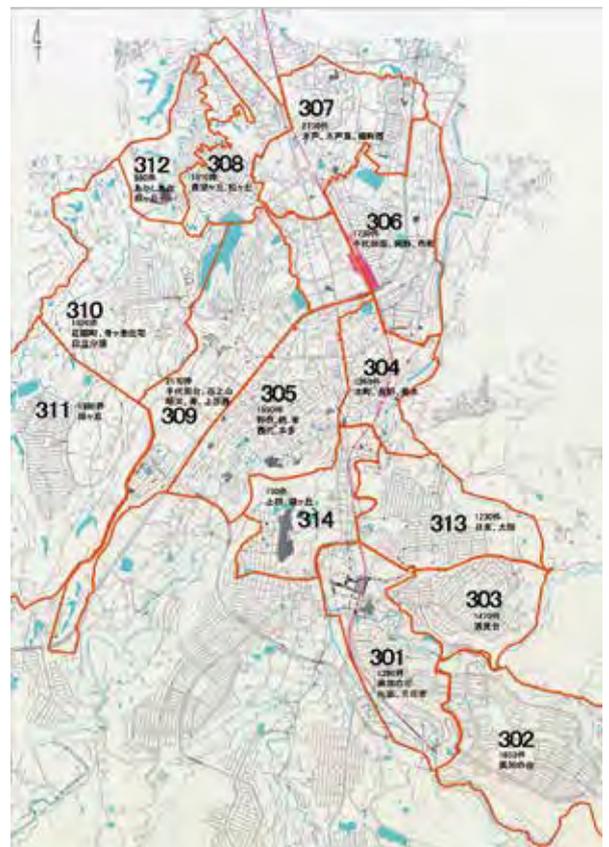
都市ガスの供給区域内で震度5弱以上の地震が発生した場合は、休日夜間でも全社員が自動出社することを規定しています。また地震以外の災害発生時には、緊急呼び出しシステムで出社の要請をいたします。

プロパンガス（LP）を供給している地域で震度5弱以上の地震が発生した場合や、自然災害が発生する恐れがある場合、警報が発令された場合には、当社の規程に基づきLP災害対策隊が組織されます。

3. 地震発生時の緊急対策

大規模な地震により被害が発生した場合は、当社の保安規程に定める「地震災害対策要領」に基づき、対策本部を設置して情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。地震の規模によっては、二次災害の防止のため、お客さま宅へのガス供給を停止することがあります。

当社では、ガス供給を停止する場合においても、停止範囲の制限や素早い復旧作業に取り掛かれるよう供給区域のブロック化を行っています。



ブロック化された供給区域

4. 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震災害や近年被害が甚大化している台風豪雨等の異常気象に備え、各種マニュアルの整備や全社員による訓練を実施しています。

また、ガス漏れ等の緊急時に備え、業務機会等を通じて研修、教育を実施しています。



保安教育



地震訓練



LP災害対策隊による訓練

5. 災害時に強いプロパンガス (LP)

プロパンガス (LP) は、ガスが充てんされた容器を各家庭に届ける「分散型エネルギー」です。これにより配管など供給設備の点検も短時間で済み、異常があった場合でも迅速に復旧することができます。

プロパンガス容器は、1本を予備用として2本設置、常に予備が1本あるので災害時にも役立ちます。

V 快適な生活をご提案

私たちの約束2

私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。



1 快適な生活をご提案

① お客さまの生活を快適にするリフォームのご提案

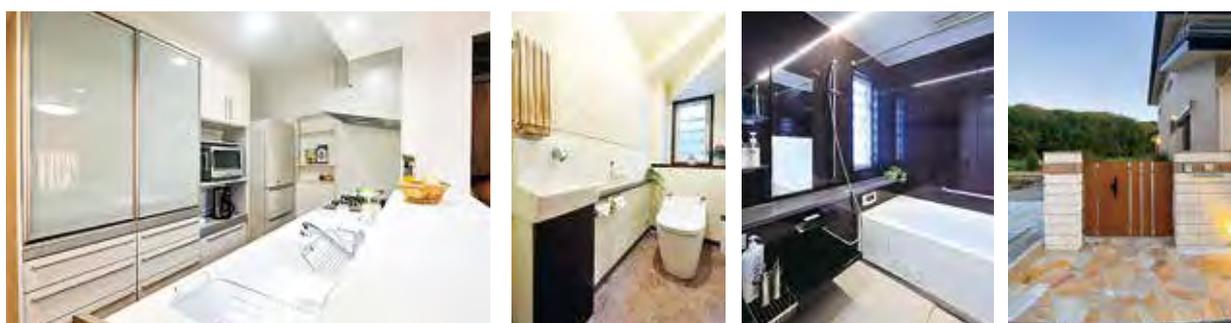
リビングセンター長野は36年にわたり、リフォームを通してお客さまの「理想をカタチに 快適に住まう空間創り」を実現してきました。

河内長野を中心に、施工担当者とコーディネーターがペアとなって、キッチン、浴室、トイレからバリアフリーリフォーム、耐震補強工事に至るまで、お客さまのご要望にお応えしています。

お客さまから信頼され、ご相談いただく中で、私たちの手掛けるリフォームは、様々な賞をいただくことができました。これからも「家じゅうまるごとサポート」を合言葉にお客さまのライフスタイルに合わせ、培ったノウハウを活かして理想の空間創りをご提案いたします。(2021年1月現在 延べ施工実績 16,337件)



当社ショールーム打合せスペース



当社施工事例

過去の受賞歴

2014年2月	TDYリモデルスマイル作品コンテスト2013 ブロック別部門 優秀賞
2014年5月	全国トクラスリフォーム選手権 エリア版 最優秀賞
2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018 クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会 ベストリフォーム賞

② 省エネ設備の普及拡大へ

省エネ設備には、節水型トイレ・節水シャワー・省エネレバー水栓や内窓設置・断熱改修等が挙げられます。これらの商品を使用して頂く事で節水・省エネになり家計の経済面をサポートするとともに、環境への負荷の低減につながります。

1. 省エネ設備の普及の意義

地球に様々な影響を与える温室効果ガス(CO₂)の発生を抑制するため、リビングセンター長野は、省エネ設備を提案しています。一人でも多くの方が省エネ設備を採用することで、温暖化防止とお客さまの健康で快適な生活を支えていきたいと考えています。

●省エネ設備(節水型トイレ)販売台数

	節水型トイレ
2020年度	39
2019年度	77
2018年度	72

2. リビングセンター長野が提案する省エネ設備

●節水型トイレ

従来のトイレは1回流す毎に約13ℓの水を流していました。最新のトイレに入れ替えると使用する水の量は5ℓとなり、8ℓもの節水になります。また、フチのないものや表面加工により、お手入れも楽になります。



●節水シャワー

シャワーヘッドの穴を小さくしたり、穴の数を少なくしたりといった仕組みで、通常よりも水の使用量を減らすものや、水に空気を含ませることで、水の一粒子を大粒化させ従来のシャワーに比べて約35%~48%の節水ができます。



●省エネレバー水栓

従来のシングルレバー混合栓では湯水混合だったレバー中央部を、水の吐水域に設定。無意識にレバーを操作して、知らずにガス給湯機が作動するムダを防ぎます。さらに、水と湯の境にクリック感を作り、水と湯を意識して使い分けできる構造によって約20%のガスの節約になります。

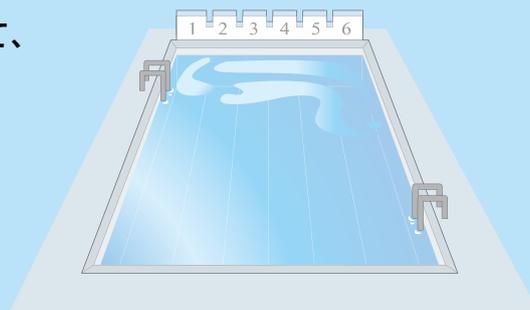


●内窓設置・断熱改修

内窓設置で室外と室内をしっかりと隔てる構造になるため、大きな断熱効果となります。外気温の影響を受けにくくなり、結露の発生を大幅に抑える事が出来、冷暖房効率が上がるため光熱費が節約出来ます。また、窓ガラスの枚数が増えることで防音効果も得られます。



リビングセンター長野は、節水型トイレの販売を通じて、
年間200万ℓの節水^{※1}に貢献できました。
これは、25mプール 4.2杯分^{※2}に相当します。



- ※1 節水量の試算条件
1件当たり家族4人(男2人、女2人)で便器使用回数
(大1回、小3回/人・日)とし、
140ℓ/日(年間51,300ℓ/年)の節水と想定
- ※2 25メートル1杯分を25m×16m×1.2m=480m³(立方メートル)
1m³=1,000ℓで480m³=480,000ℓと換算

2 ガス機器を通じた快適な暮らしのご提案

河内長野ガスグループは、お客さまの生活を快適にするガス機器のご提案をしています。エネルギーを使う生活から、つくる・トクする生活を実現する「エネファーム」をはじめ、寒い冬を快適に過ごすことができる床暖房やファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させる衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットでおトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客さまの経済面もサポートいたします。



ガス衣類乾燥機



最新型ガラストップコンロ



ガス温水床暖房



ガスファンヒーター

①環境にやさしいエネファーム、エコジョーズ普及拡大へ

エネファーム、エコジョーズの普及の意義

家で発電できるエネファームなら、遠方の発電所から送電される際の電力のロスがなく、発電時に生じる排熱を給湯などに使えるので、電気や熱のエネルギーの約85%~97%を利用でき、CO₂排出量を1年間に約1.3tも削減できます。(メーカー、種類により異なります。)

また、停電時には自立運転する機種もあり、いざという時も安心です。

エコジョーズは従来型のガス給湯器と比べCO₂排出量を約15%削減できます。地球温暖化の一因となるCO₂排出量を従来に比べ大幅に削減します。

●エネファーム、エコジョーズの販売台数

エコジョーズ 2020年度 226台 (前年比86%)

2019年度 263台

エネファーム 2020年度 8台 (前年比100%)

2019年度 8台

2020年度はエコジョーズの販売を通じて
年間約55t-CO₂の排出を削減しました。

これは、杉の木約4,000本が一年に吸収するCO₂と同じ量です。



参考

大阪ガスホームページ 省エネ給湯器エコジョーズの特長 (<https://www.osakagas.co.jp>)

ノーリツホームページ エコジョーズについて 給湯機器 (<https://www.noritz.co.jp>)

岡山県ホームページ 森林は二酸化炭素をどれくらい吸収しますか? (<https://www.pref.okayama.jp>)



マイホーム発電
「エネファーム」



省エネ給湯器
「エコジョーズ」

②CS・KGG (河内長野ガスグループ) イノベーション部会

1. CS・KGGイノベーション部会の目的

河内長野ガスグループは、地域のお客さまとの信頼関係を築き、継続的な関係性を構築するために、サービス業務の拡充やプラスワンサービスの展開を目的として、全社横断的な組織であるCS・KGGイノベーション部会を発足させました。

CS・KGGイノベーション部会を通じて、ご家庭のお困りごとを解決するサービスメニューを1冊にまとめました。



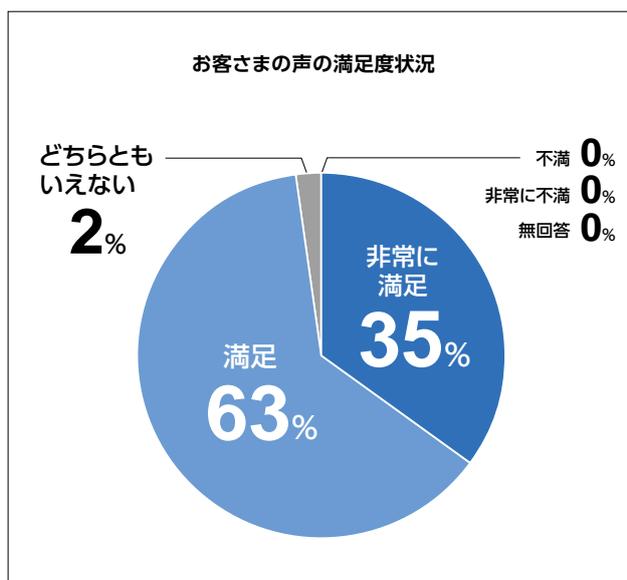
●発案されたプラスワンサービス一例

- ・当社を経由してメーカーによる修理対応したお客さまに対する電話によるフォローサービス
- ・ご家庭のお困りごとを解決するサービス「家じゅうまるごとサポート」のご提案
- ・リフォームの竣工日を記念日として1周年目に竣工日の記念写真の贈呈
- ・お客さま宅に設置されているガス警報器の作動テストを行い、発報音の確認をしていただく

2. お客さまの声の確認

お客さまからいただいたご意見を月ごとに集計し、役員、管理職、部会メンバーで共有し、業務に活かすようにしています。

●2020年度集計結果



⑥お客さまの快適な生活を支える情報発信

1. 暮らしの情報発信基地「crassimo (クラッシモ)」

河内長野ガスグループショールーム「crassimo (クラッシモ)」では、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器など、お客さまの安心・安全で快適な生活を支える商品を多数取り揃え、展示しています。

また、ショールーム内においてカルチャースクール「クラッシモサロン」を開講し、ヨガ、書道、手芸教室等の講習をしています。更に、今年度よりクッキングスタジオにおけるパンレッスン「クラッシモパンクラブ」を新たに開講しました。パンクラブでは材料の一部に河内長野市の里山における小麦栽培体験(NPO法人里山ひだまりファーム様主催)で収穫された小麦を使用しました。



ショールーム「クラッシモ」館内

クッキングスタジオは地域の皆さまにご利用いただけるよう貸出しも行っています。

また、キャンペーン開催時、世界フェアトレード連盟の認証を得たオーガニックチョコレートをショールームでのご購入特典としました。

●開催実績(回)

	クラッシモサロン	クラッシモパンクラブ
2020年度	191	32
2019年度	240	—
2018年度	252	—

※ 2020年2月から7月までは緊急事態宣言のため、クラッシモサロン・クラッシモパンクラブは中止いたしました。

2. 暮らしの情報誌「Crassimo NAVI (クラッシモ ナビ)」

河内長野ガスグループの情報誌「Crassimo NAVI」では、最新設備を取り入れたリフォーム事例を施主様へのインタビューと豊富な写真でご紹介。その他にも当社イベント情報、クラッシモサロンのご案内、ガスを安全にお使いいただくための情報など盛りだくさんの内容となっています。また、お洒落で美味しいお店紹介コーナーでは、新型コロナウイルス感染症による難局を「みんなでのりこえよう」と出来るだけ多くのお店を掲載しています。「Crassimo NAVI」は年4回発行しています。



「Crassimo NAVI」

VI 子どもたちの明るい未来のために

私たちの約束3

私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、
緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。



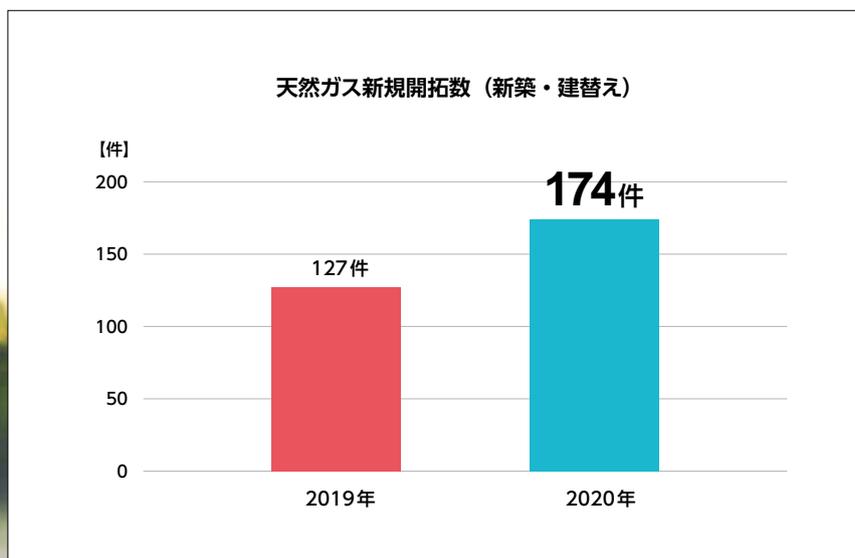
1 環境への取り組み

私たちは、エネルギー供給会社として、環境への配慮の重要性を理解しています。天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社社屋には、省エネ、環境面の配慮が施されています。

① クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大

河内長野ガスが供給する都市ガスの主原料である天然ガスは、燃焼時において、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素(CO₂)の排出量が、石油や石炭に比べて少なく、また、世界各地に豊富に埋蔵されているため、安定供給しやすいという利点があります。

河内長野ガスは、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大に努めて参ります。2020年度は、174件の新しいお客さまへ天然ガスを供給開始いたしました。



②省エネ・環境性に配慮した本社社屋

建築環境総合性能評価 (CASBEE) *最高Sランクを取得した本社社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAOアワード2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

※建築環境総合性能評価システム (CASBEE) とは、建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

1. 自家発電

社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステム 2台を設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約40%をまかなっています。

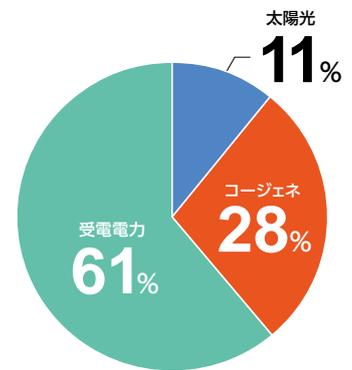


太陽光パネル



ガスコージェネレーションシステム

2020年度自家発電状況



2. 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループ本社社屋は、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間になっています。



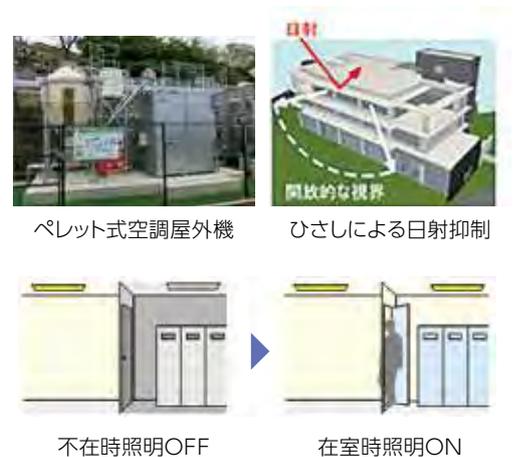
社屋内の様子

3. 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調で冷暖房をしています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる空調機で、森林資源の循環により、カーボンニュートラルで温暖化防止に貢献するシステムです。

社屋の外壁にはひさしを設け、視界を確保しながら日射を抑制し、室内への熱の流入を防いでいます。

廊下、トイレ、更衣室には人感センサーを設置し、人を感知すると照明を点灯・換気ファンを稼働、人がいない場合は自動的に照明を消灯・換気ファンを停止することで、省エネを図ります。



③社内活動

1. グリーン購入

文具や備品の購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入すること及び環境への取り組みに熱心な事業者から購入することに努めています。



●グリーン購入品目実績（一例）

- ・紙類…印刷用紙、衛生用紙（トイレtpーパー）、封筒など 計8品目
- ・文房具類…ボールペン、ファイル、バインダー、のりなど 計70品目程
- ・作業衣類…制服、作業服（ペットボトル再生樹脂使用）、作業用手袋など

2. 近隣清掃活動

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる市と民間企業等が協力して地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アドプト・ロード・ふらむ」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動（街路樹の落ち葉拾い、雑草除去など）を全従業員（役員を含む）で定期的を実施しています。アドプト（adopt）は、英語で「養子縁組をする」を意味し、1980年代半ばにアメリカで始まった制度で、地域住民の道路愛護精神の定着と道路利用マナーの向上を啓発しようとするものです。



近隣清掃



●2020年度実績

4月7日、10月9日、11月6日、12月8日、2月9日、3月9日

2 地域貢献への取り組み

河内長野ガスグループは、地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長に寄与することや地域団体との連携により地域の発展に貢献することを目的に、長年にわたり地道な活動を行っています。

① 次世代育成活動

河内長野ガスグループは2006年度から河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心とした「小学校出前教育プログラム」を行い、2019年度までに延べ59の小学校に127回の授業を行いました。今後、“和食だし”体験講座や防災教室等、時代に合わせた新たなプログラムを加えていきます。(2020年度はコロナ禍により開催はありませんでした。)

● 地域団体と連携して実施した活動例

「放課後子ども教室」

河内長野市立林業総合センター・木根館(きんこんかん)が河内長野市教育推進課から委託を受けて、森林ESD(持続可能な社会を構築するために必要な能力等を養う、森林等を教材にした教育)に基づき実施する課外授業「放課後子ども教室」にスタッフとして参加し運営に協力しています。

当社ホームページ新着情報 「放課後子ども教室」活動紹介 (<http://www.naganogas.co.jp>)



放課後こども教室の様子

「ワンぱっくアドベンチャー」

河内長野市内の小学生たちが川で生き物を探すなど地元・天野地区の野山を散策する教室「ワンぱっくアドベンチャー」(天野公民館に事務局を置くワンぱっくアドベンチャー実行委員会)に2020年度から協賛を実施し、当日のボランティアスタッフを従業員から募集しています。

河内長野市ホームページ ワンぱっくアドベンチャーについて (<https://www.city.kawachinagano.lg.jp>)

当社ホームページ新着情報 「ワンぱっくアドベンチャー」活動紹介 (<http://www.naganogas.co.jp>)



ワンぱっくアドベンチャーの様子

②地域団体との連携

2020年度は、河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ）様が主催する講座等で当社従業員が講演やパネリストとして参加しました。

●2020年度の実績

- ・「SDGs連続講座2020 防災セミナー」（オンライン講座 2020年11月22日）
テーマ「持続可能なまちづくりに防災が果たす役割」で講演
- ・「河内長野SDGsシンポジウム2021」（オンライン開催 2021年2月7日）
テーマ「かわちながのソケット実現の可能性を探る」パネルディスカッションでパネリストとして参加



河内長野SDGsシンポジウム2021の様子

③新規事業への取り組み

河内長野ガスグループは、2017年度と2018年度の2年間（計8回）にわたり、学識者、有識者、民間企業代表者及び河内長野市の幹部の方々をメンバーに「将来構想検討委員会」を開催し、高齢化や人口減少等の河内長野市の諸問題及び河内長野ガスグループ内部の課題や解決策を議論しました。当委員会を通じて、河内長野ガスグループは地域の活性化や地域課題解決を担う必要のある企業グループであること、これらを実現する新規事業を進めていくこと等を確認しました。

●提案された新規事業案

空き家関連ビジネス

1	民泊事業
2	サービス付き高齢者向け住宅
3	空き家管理・ 空き家リノベーション

高齢者向けビジネス

1	訪問介護・訪問看護ビジネス
2	宅配サービス
3	見守りサービス
4	家事代行サービス
5	メディカルフィットネス

その他ビジネス

1	地域開発への取り組み
2	日本版シュタットベルケ
3	社用車ラッピング広告
4	防犯機能付電話機斡旋/ 販売

④ ショールームの地域貢献活動への取り組み

河内長野ガスグループショールーム「crassimo(クラッシモ)」では地域への貢献活動として、河内長野市社会福祉協議会様や日本ライトハウス様等の募金箱を設置しています。イベント時は、リフォーム工事の際に発生する端材をDIYにご利用いただけるよう処分市を開催し売上を両団体様に寄付させていただくことで、円滑な運営に協力しています。

また、河内長野市の高齢者公共交通利用促進事業の「まちなかクーポン配布事業」にも協賛し、まちなかクーポンを持参されたお客さまには粗品をプレゼントしています。

他にも乳幼児を連れた保護者が外出中におむつ替えや授乳ができるスペースのある施設「赤ちゃんの駅」として登録されています。

インフォメーションコーナーでは大阪府警察様の特殊詐欺被害防止ポスター、河内長野市自治安全部危機管理課様の自動通話録音装置無料貸し出しの案内や新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関するご案内を掲示し、地域の皆さまへの情報発信を行っています。

2020年度は、河内長野を舞台にした映画「鬼ガール!!」を応援するため、「奥河内ムービー・プロジェクト実行委員会」に協賛し、ショールームにのぼりやポスターを設置するなどして、映画による町おこしに協力しました。



DIY素材処分市コーナー



地域の情報を掲示する
インフォメーションコーナー



「赤ちゃんの駅」
ロゴマーク



募金箱の設置



「鬼ガール!!」のぼりを設置

VII 働きやすい職場づくり

私たちの約束4

私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。



私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性を向上させ、より高い成果をあげるため、働きやすい職場環境をつくっていきたいと考えています。

1 やりがいのある職場

① 人事制度

1. 評価制度

各部署の事業計画・方針に基づいて各自目標シートを作成し、業務を遂行しています。目標達成度合いに応じて評価がなされます。

2. 資格取得支援制度

従業員の資格取得や自己啓発を奨励し、従業員のスキルアップを目指しています。業務に関係する資格の場合、会社が費用を負担するなどバックアップをおこなっています。また、資格取得は昇格要件にも含まれています。

2 働きやすい環境

① 働き方改革

1. 有給休暇取得の促進

有給休暇の取得は、仕事と生活の調和が実現し、働く意欲の増進に繋がると考えています。業務に支障が出ないよう部署内で調整し、積極的に取得することを促しています。

● 有給休暇平均取得日数

2020年度	2019年度	2018年度
9.3日	8.9日	7.0日

2. テレワークの実施

従業員の働き方や業務内容により、必要に応じてテレワークを実施しています。また、新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるために社内でもWEB会議ツールを活用しています。

3 安全衛生への取り組み

① 安全衛生委員会

月1回開催される安全衛生委員会では、部署の垣根を越えた安全面・衛生面に関する情報共有、従業員の要望・意見をまとめて議論するなど、よりよい職場環境づくりを目指し活動しています。

●2020年度の主な議題

- ・新型コロナウイルス感染症の対策
- ・交通事故防止のよびかけ など

②リビング協力会社安全大会

リフォーム業務を営むリビングセンター長野では、1年に一回協力関係業者様（メーカー、商社、工務店、設備業者）にお集まりいただき、安全大会を行っています。安全大会では現場での危険箇所・危険行為・道具の使用方法・工事中の安全行動などの研修を行っています。

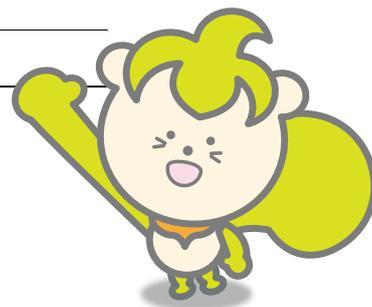
また、外部講師による個人情報取扱いやコンプライアンスについての講義をいただいています。（2020年度はコロナ禍により中止）

③従業員の健康を配慮した取り組み

従業員の健康に配慮した取り組みとしては、毎年健康診断や従業員のストレスチェック、インフルエンザの予防接種を実施しています。更に毎朝のラジオ体操の励行やクラブ活動への補助、本社建物内は全面禁煙としています。

●各取り組みの実施率

	2020年度	2019年度
健康診断	100%	100%
インフルエンザ予防接種	99%	100%
ストレスチェック	92%	88%



④ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症対策として、河内長野ガスグループでは、協力会社を含めた全従業員は以下の取り組みを徹底し、ガスの安定供給、サービス業務や保安の確保に支障が出ないよう業務を遂行しています。

●お客さま宅訪問業務について

- ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
- ・ご了承を得た上での最小限の室内立ち入り など

●事務所等の感染拡大防止について

- ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
- ・従業員及びお越しになる取引先さまの検温
- ・執務場所や会議での適切な人と人との距離を確保 など



事務所内各所に体温計・アルコール消毒を設置

●ショールーム「クラッシモ」の営業について

- ・スタッフのマスク着用・手指のアルコール消毒・検温
- ・定期的な換気、受付カウンターや商談コーナーに飛沫防止の亚克力ボードを設置し、商談ごとに消毒
- ・ご来館者様には、事前予約のご案内、マスクの着用・手指のアルコール消毒・検温



検温・消毒・飛沫防止の亚克力ボードで感染対策



VIII コンプライアンスの取り組み

私たちの約束5

私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、
社会人として責任ある行動をとります。



法令の遵守と高い倫理観を持った活動

河内長野ガスグループは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に遵守することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとするに努めています。

従業員（役員を含む）一人一人がコンプライアンスについて意識を高め、地域の皆さまに信頼される企業でありたいと考えています。

①コンプライアンス会議

月に1回、企業法務の専門家である追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授をコンプライアンス担当顧問としてお迎えし、ボードメンバーや社員代表からなるコンプライアンス委員によるコンプライアンス会議を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報、意見交換を行っています。

②コンプライアンスアンケート

全従業員（役員を含む）を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見に繋げるとともに、コンプライアンスへの意識付けをしています。

●回答率

2020年度 98% 2019年度 97% 2018年度 96%

③コンプライアンス研修会

全従業員（役員を含む）を対象に年に1回、水野教授を講師として、従業員や協力会社を対象にコンプライアンス研修会を実施しています。

研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員、協力会社の意識付けを徹底しています。

●2020年度実績

7月30日、7月31日 全従業員（役員を含む）対象



研修会の様子

④コンプライアンス相談窓口

河内長野ガスグループでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、水野教授に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

⑤地域の発展を願う河内長野ガスの新たな価値創造への取り組み

河内長野ガスは、社名からもわかるように河内長野に拠点をもちガス会社ですが、単に拠点が河内長野にあるだけでなく、河内長野とともに歩み続ける企業です。河内長野ガスのお客さまは100%河内長野にお住まいで、これほど地域社会に密着した企業はないと言い切れるくらい地域密着企業です。河内長野ガスグループの長期ビジョン(あるべき姿)に「地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業」が掲げられており、この長期ビジョンは永遠不滅であり、地域の発展のために河内長野ガスグループは存在していると思います。

そのような中、河内長野ガスグループは本レポートにもありますように、2020年度に全社横断的なSDGs活動を行うためSDGs部会が結成されました。SDGsは深刻化する地球規模の課題分析を踏まえた、持続可能な世界を実現するための国際目標で、17のゴールから成り立っています。一見すると、とても大きなテーマに感じ、地域社会との関連性に疑問を持たれるかもしれませんが、河内長野ガスグループの日常的な取り組みは、何らかの形でSDGsの取り組みにつながっており、その延長上が地域の課題解決へとつながります。

地球環境を守ることや、質の高い教育などのテーマをパートナーシップの中で実行するという狙いが、17のゴールで明確に示されていますが、これらは、ある日突然で上がったものではなく、長い歴史の集大成として明文化されたものです。地域社会とともに歩む河内長野ガスグループが、創業時から長い年月をかけて長期ビジョンに則った活動を行い、地域社会の課題解決に取り組んできた歩みと重なります。

高齢化社会の進展に加え、コロナ禍で地域の皆さまの不安は大きくなる一方です。そのような中、河内長野ガスグループが皆さまにお役に立てることを一つでも増やす取り組みを行っている印象を受けます。コロナ禍でこれまでとは違う価値観となり、河内長野ガスグループも行動変容が求められます。河内長野ガスグループには、SDGsの取り組み強化とともに新たな価値創造への取り組みを行う企業になることを期待していただき、注目していただければと思います。



追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授



Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社

河内長野ガスグループ
株式会社リビングセンター長野